United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
UNESCO Associated Schools

平成２８年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成２８年４月～平成２９年３月

１．学校概要

学校名　富山国際大学付属高等学校

種　別　□保育園・幼稚園　□小学校　□小中一貫教育
□中学校　□中高一貫教育　■高等学校
□教員養成　□技術/職業教育
□特別支援学校　□その他（　　）

所在地　〒９３０－０１７５
富山県富山市願海寺水口４４４

E-mail　info@tuins-h.ed.jp

Website　http://www.tuins-h.ed.jp

児童生徒数　男子４１０名　女子４３７名　合計８４７名
児童・生徒の年齢１５歳～１８歳

２．実施活動（複数選択可）

□　地球規模の問題に対する国連システムの理解
■　国際理解
■　世界遺産
□　平和・人権
■　環境
□　気候変動
□　生物多様性
□　エネルギー
□　防災
□　食育
□　伝統文化
□　そのほか（　　）

３．活動内容

（１）１年間の主な活動内容について記載願います。

◎「幸せ遺産プロジェクト」始動
「高校生が後世に残したいもの」を姉妹校等と協働して選定していき、その過程を通して ESD の重要性を理解し、グローバルな視点とマネージメント能力を身につけた、世界平和に貢献できるグローバル人材を育成する。

今年度は生徒のプロジェクト事務局（19 名）が発足。以下の姉妹校･協力校にプロジェクトの趣旨をプレゼンテーション、協力を呼びかけた。
７月　ルーハ高校（中国）、チェスタートン高校（アメリカ）
　　Phratumnuk Suankularb School（タイ）
１月　大田外国語高校（韓国）

また、全校生徒への浸透を図るため、プロジェクトメンバーと生徒会執行部や新聞部で座談会を開き、学校新聞紙上で報道したり、９月の文化祭でプロジェクトメンバーによるステージ発表やポスターセッションを行ったりした。

◎ESD の啓発
７月に１年生向け講演会　　伊井直比呂　先生（大阪府立大学）

◎「国際理解講座」を年 18 回開講

◎ESD 型授業の研究開発
各教科でアクティブラーニングの手法を取り入れ、「思考力」を中核に、それを支える「基礎力」、その使い方を方向づける「実践力」という「21 世紀型能力」を身につける ESD 型授業の研究開発に取り組んでいる。

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

■　通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
■　時間外活動の時間を使用
□　ユネスコクラブの活動として実施
□　その他（　　）